

ロータリー：
変化をもたらす

第2784回例会

平成29年 9月11日(月)



Yamagata West Rotary

会長挨拶

半田 稔 会長



マザーハウス代表 山口絵里子さん

9月9日(土) 山形東ロータリークラブ創立30周年記念式典がホテルキャッスルで盛大に行われました。当クラブからは、来賓を含め、11名が出席しました。

記念講演として、バングラデシュやネパールでバッグやストールなどのデザイン・生産を行う(株)マザーハウス代

表の山口絵理子さんが、「途上国から世界に通用するブランドをつくる」と題してお話をされました。

1時間余りのお話の中から、ごく一部のみ紹介します。興味がありましたら、山口さんが書いた本も出版されていますので、お読みください。

慶応大学からバングラデシュ大学院へ

山口さんは、慶応大学2年生の時の講義で、その国に生まただけで大学に行けない人が何人もいる、との話を聞いて、開発途上国に関心を持ち、当時アジアで最も貧しかったバングラデシュの大学院に入学しました。しかし、政治的に不安定で月に1回は外出禁止になる、通学路でバスが燃えている、1回の洪水で何千人が流される、など日本とのギャップに愕然としました。空を見上げて、この空は日本の空につながっていない、と思ったそうです。

しかし、スラム街でほとんど手足のない少年が物売りをしている、川が増水して日本なら学校は一斉休校するようなところを皆登校してくる、現地の人はなんてたくましいのだろう、と考えるようになりました。

ジュートを商品化

そしてある日、バングラデシュで生産されている麻(ジュート)は優れた材質で、地元の人がそのことに誇りを持っていることに気づきました。しかしそれを買い付ける欧米や日本のバイヤーは、開発途上国は安いものをたくさん作って売るのが役割だ、と言わんばかりでした。そこで山口さんは、麻を原材料のまま売のではなく、現地で商品化して付加価値をつけて売れば、バングラデシュにもっとお金が入ると考えました。

そこで現地で麻のバッグを作り、最初は160個を日本に持ってきて販売し、やがて良い品物ということで人気が出て、取扱商品、生産国、店舗が増えていきました。その生産、販売の苦労もお話いただいたのですが、省略します。

自社工場、店舗展開

ただひとつだけお話ししたいのが、山口さんは、うまくいかない、もう止めようか、と思った時に、最後にこう考えるそうです。「選択肢、解決策は全部使い果たしたのか」。バングラデ

シュでバッグの生産が思い通りにいかないときに、そう考えたところ、現地の工場に生産を委託しているから思い通りにいかないんだ、自分の工場を持つという選択肢があるのではないかと気づき、自社工場を持ち、結果、成功したということです。

私たち凡人は到底山口さんの生き方を真似できるものではありませんが、知っておいていただきたい方です。

幹事報告

五十嵐 信 幹事

●先週5日にネルソン君の歓迎会をしました。ホストファミリーの3家族や、子どもたちも来てくれました。

●7日に青少年委員会関連で、高校生の英語スピーチコンテストがあり、結城元会長に出席していただきました。

●9日土曜日に山形東ロータリークラブの30周年の記念式典と講演会、懇親会がありました。気づきましたのはプロトコールの連絡をしなくては いけなかったと反省しています。これから北ロータリーの記念式典に、また皆さんと一緒に参りますので、そのときはご連絡申し上げます。

●今日はネルソン君に奨学金をお渡しします。



ニコニコBOX

遠藤栄次郎さん／先週4日月曜日からカナダ、ナイアガラでリサイクルの会議があり、研修とゴルフを楽しんで来ました。昨夜戻りましたが元気で今日の例会に出席できました。

伊藤義彦さん／感激しました。先日、美術館に県美展を見に行きました。飯田さんの陶器の作品が展示されていました。感激しました。

飯田喬之さん／陶芸を始めて5年、県展に入選しましたのでニコニコします。

中山眞一さん／公安委員の時にお世話になりました、本日の講師吉田敏雄様が元気にご活躍されておりますことにニコニコいたします。

小林恵一さん・坂部登さん・結城和生さん／青森～秋田にまたがる白神山地のトレッキングを完遂しました。9日は暗門の滝、第3、第2、第1を沢登り。10日は十二湖めぐり3時間コースのトレッキングでした。

ゲスト卓話



犯罪被害者救済の法律

今、日本の社会は核家族で、家庭教育や学校教育が忙しさのあまりに進んでいません。そんな中で、地域のリーダーの皆さんがさまざまな社会教育をされています。それが今日の日本を築いているのではないかと思います。

そんな素晴らしい日本でも、犯罪は起きます。われわれも犯罪の被害者になるという場面が出てきます。あるいは皆さんのように地域のリーダー、あるいは一つの企業のリーダーという形になりますと、従業員の方や地域の方々がそういう被害に遭われるということがあります。そういう方々にどういう優しさを持って接することができるのだろう、今日はそんなお話になればいいなと思っています。被害者支援のそういう社会的な仕組みがどうなっているのかをお話しさせていただけたらと思います。

被害者の方たちを支える法律というのは非常に後発で、平成17年に「犯罪被害者等基本法」ができています。そして被害者のために国が何かできないかということで検討されたのが「犯罪被害者等給付金支給法」です。これは、通り魔的に被害に遭って亡くなられた遺族の方に、国が見舞金として一時金を出す制度で、昭和55年に施行されました。被害者の方は、お金も大切ですが、子どもが急に亡くなってしまう、その喪失感、その心の痛みから救ってもらえる、精神的に救われる仕組みや制度が、平成4年3月に日本で初めて民間の犯罪被害者相談室ができました。被害者の方々は、まず始めに、事件に遭ったことによる精神的なショック、医療費とか転職、経済的な困窮、警察の捜査、検察の捜査、それから当時は5年、10年と長い裁判制度で、その間の苦痛というのはたいへんひどく、いちばん心に痛むのは、周囲の人々の無責任な噂話、これはたいへん心を傷つけるのです。実際に被害に遭ってみたいとわからないさまざまな問題がありました。心の痛みをなんとか和らげるためのカウンセリングをするうえで、各県に民間の相談施設がないとなかなか話が進まない、被害者の心情とか痛みはどんどん取り残されていきます。

民間相談室

そういう方たちのために、民間の力で支援していくシステムを作らなければと、当時8都道府県の民間相談室を全国ネットワークの組織にして、各県に相談室を設ける活動をしてきました。そこで被害者の権利をみんなで考え、それがベースになって犯罪被害者等基本法が成立されました。平成16年12月に公布され、平成17年4月1日施行になりました。いちばん大事なのは、再び平穏な生活を営めるまでの間、途切れることなく支援を行う。こういう仕組みになっていないと被

害者を救えない。第3条に「個人の尊厳にふさわしい処遇を保証される権利」、これが被害者の権利として初めて法律に基本理念という形で盛り込まれました。

性暴力被害者支援

内閣府では第2次基本計画の中で、性犯罪、性暴力被害者のためのワンストップ支援センターというものを設けることになり、山形県でも性暴力被害者のためのワンストップ支援センター「べにサポやまがた」が平成28年4月25日から開設されました。電話相談、面接相談が主ですが、直接自宅に訪問したり、情報提供したり、あるいは「警察はなかなか敷居が高くて行けない」という人については検察庁、裁判所へもいっしょに付き添います。平成28年6月からは、山形県独自で特別緊急支援金の支給支援も始めました。

支え合って

いちばん肝心なのは「支え合って生きていきましょう」ということで、賛助会に入会するご案内が今日の資料についております。1本あたり5円の募金が支援センターに入る寄付金付きの自動販売機などもご協力いただいております。被害者の方たちは本当に精神的に苦しんでいます。特に女性の性被害は、5年後、10年後にその苦しみが増えになってきます、そんな人たちのためになんとか民間の力で支え合っていきたいと考えています。支援センターは山形市内と、山形県にひとつ、それから庄内にも相談所を置いております。そんな形で活動していることをご理解いただいて、ご協力いただけたらと思います。貴重な時間、本当にありがとうございました。

委員会報告



社会奉仕委員会

武田 岳彦 委員長

2点ほどお願いがあります。1点目、来る30日に石巻支援芋煮会が開催されます。石巻から90名程度の参加が予定されており、万全の準備でお迎えして、楽しんで帰っていただきたいと考えております。つきましては、1人でも多くのご参加をいただき、交流を図ってほしいと思います。また、当日、調理等のお手伝いをいただける奥様がおられましたらたいへんありがたいと思っています。是非そちらのお声がけもよろしくお願いいたします。

2点目、ファックスにて依頼文を送付させていただきましたが、当日のドリンク、おつまみなどをご奉仕として提供いただければたいへん有難いと考えています。ご連絡をいただければ、委員が引き取りに伺います。また、当日お待ちいただいても大丈夫ですが、事前にリストを作りたいので、持って行くというご連絡をいただけたらと考えております。詳しくは案内文を見ていただくか、委員会にお問い合わせください。一切任せるから、足りないものを協賛してくれというお任せ協賛も考えており、こちらは全体の協賛品の集まり次第では、リーズナブルになるか、お高くなるかというギャンブル的なドキドキ感も味わえるような協賛方法です。是非、お申し出いただければと思います。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (9/11)	102名	55名	修正出席 (8/21)	101名	91名	87名	95.60%
メイクアップされた会員	なし						